

(1)出題方針

世界史の問題は〔I〕〔II〕〔III〕の三つの大問で構成され、配点はそれぞれ 50 点であり、全体で 150 点満点、試験時間は 75 分である。いずれの大問も、番号選択と記述式の二つの形式を混合して出題される。高校で学ぶべき知識を万遍なく学習したかどうかを重視しているので、出題範囲は「世界史探究」の教科書の記述内に留まり、それ以上の専門知識は求めている。その限りにおいて、先史時代から現代まで、欧米や中国のみならずどの地域についても、政治・経済・文化などあらゆる分野から出題される可能性がある。大問ごとに主たる地域・時代が設定されるが、個々の設問の出題範囲は必ずしもそれに限定されない。

大問によっては、ある地域の長期的展開の理解が問われる。例えば2月5日〔I〕は古代から宋代までの中国史、2月8日〔I〕は中世の西ヨーロッパ史、2月9日〔I〕は初期イスラーム史の前後の地中海・西アジア史の展開に関連する大問である。一方、同時代の地域間関係の理解を問うものとして、例えば2月6日〔III〕は 20 世紀の米ソおよびアジア諸国、2月8日〔III〕は 18・19 世紀の北アメリカおよびラテンアメリカに関連する大問である。長期的展開と地域間関係の双方を問うものとして、例えば2月5日〔II〕は中世・近世のロシア・東欧史、2月7日〔I〕は古代から近代までの東南アジア史、2月 10 日〔II〕は中央アジア・西アジア史の展開を中心としつつ、それらの周辺諸地域も含めて出題した。2月6日〔I〕では、ヘレニズムおよび古代ローマ史の展開にくわえ、その他の地域・時代からも幅広く出題した。

(2)解答状況および解説

試験日ごとの受験者／合格者の平均得点率は、2月5日は 74.7／85.8%、2月6日は 64.1／74.5%、2月7日は 70.3／82.9%、2月8日は 69.4／80.6%、2月9日は 77.5／87.3%、2月 10 日は 74.7／87.4%という結果だった。全体として正解率はおおむね高く、受験生の学習成果が表れているといえよう。

いずれの日程も、合格者の平均得点率は、受験者より約 10%高くなった。以下、比較的大きな差が生じた設問を挙げる。まず歴史の流れ、因果関係の理解を問うものとして、2月8日〔II〕設問2は唐代の税法の変化、2月9日〔II〕設問3の(2)はイギリス東インド会社の貿易独占権が廃止される過程についての問題である。次に複数の地域にまたがる理解を問うものとして、2月 10 日〔III〕設問3は第二次世界大戦後の英仏と中東諸国、設問6は米ソおよび第三世界についての問題である。その他、知識の正確さを問うものとして、2月7日〔III〕設問3の⑥は第二次世界大戦でのイタリア降伏、2月 10 日〔I〕設問3は中世西ヨーロッパの建築様式についての問題である。以上のように、正確な知識にもとづく歴史への理解が求められる。

(3)受験生へのメッセージ

何より重要なのは「世界史探究」の教科書の内容を万遍なく学習しておくことである。具体的な人名・地名・用語の意味や意義を頭に入れ、その知識にもとづいて長期的展開や地域間関係を理解したうえで、試験に臨んでほしい。地理や現代世界と関連づけて勉強する方法も有効だろう。

受験上の注意としては、以下の点が挙げられる。まずリード文・問いかけ文・選択肢を、落ち着いてよく読むこと。それによって正解を導く手がかりを見出せるだろう。逆に問いかけ文の指示を正確に読み取らなかったために、誤って解答しているケースがあった。

次に、解答欄には丁寧に記入すること。数字・漢字・カタカナなど、正確さはもちろんのこと、明確に書くことが求められる。とりわけ記述式問題に解答する際は、慎重さが必要である。漢字の間違ひは誤答となる。またカタカナで解答する場合、曖昧な覚え方をしているもの、例えば「ブ」と「ヴ」など B 音・V 音の混同、濁音符・半濁音符・長音符・促音の誤り、単一の言葉をハイフンなどで分けて書いたものは誤答となる。教科書でどのように表記されているか、よく注意して勉強されたい。ただし、もし正しく覚えていたとしても、例えば「シ／ツ／ミ」、「ア／マ」、「ソ／ニ／メ／リ／ン」、「カ／ク／ワ」、「コ／ユ」、「テ／ラ」をしっかりと書き分けていなければ、誤答と判断される可能性があるため、この点にも注意が必要である。

◆世界史◆ 出題の意図

102	出題の意図
[Ⅰ]	古代から宋代までの中国史の展開についての理解を、政治や文化に関連する知識を中心に問う。
[Ⅱ]	中世・近世のロシア・東欧史の展開についての理解を、周辺諸地域に関連する知識とともに問う。
[Ⅲ]	19世紀・20世紀初頭のヨーロッパ史についての理解を、個々の国家・民族の動向に関連する知識とともに問う。
103	出題の意図
[Ⅰ]	ヘレニズムおよび古代ローマ史の展開についての理解を、その他の地域・時代に関連する知識とともに問う。
[Ⅱ]	近世の大西洋世界に関する知識を、西ヨーロッパ諸国・北アメリカの動向を中心に問う。
[Ⅲ]	1940・50年代の東アジアを中心に、戦前から戦後にかけての米ソ中など諸国の動向に関連する知識を問う。
104	出題の意図
[Ⅰ]	古代から近代までの東南アジア史の展開についての理解を、周辺諸地域に関連する知識とともに問う。
[Ⅱ]	近世の西ヨーロッパに関する知識を、政治・宗教・文化にわたって問う。
[Ⅲ]	両大戦間期から第二次世界大戦終結に至る過程についての理解を、欧米諸国の動向に関連する知識を中心に問う。
105	出題の意図
[Ⅰ]	中世の西ヨーロッパ史の展開についての理解を、政治に関連する知識を中心に問う。
[Ⅱ]	明清時代の中国に関する知識を、税制を中心に政治・経済・社会にわたって問う。
[Ⅲ]	18・19世紀の北アメリカおよびラテンアメリカにおける政治・経済動向に関する知識を問う。
106	出題の意図
[Ⅰ]	初期イスラーム史を中心に、その前後の地中海・西アジア史の展開についての理解を、宗教・政治・文化にわたる知識とともに問う。
[Ⅱ]	17-19世紀イギリスのインド・中国への進出過程に関する知識を問う。
[Ⅲ]	20世紀後半の北アメリカおよびラテンアメリカに関する知識を、アジア・アフリカの動向とともに問う。
107	出題の意図
[Ⅰ]	中世の西ヨーロッパ史の展開についての理解を、宗教・文化に関連する知識を中心に問う。
[Ⅱ]	中央アジア・西アジア史の展開についての理解を、トルキスタンおよび周辺諸地域に関連する知識とともに問う。
[Ⅲ]	20世紀後半のヨーロッパ諸国の動向についての知識を、米ソおよび中東との関連とともに問う。